ごあいさつ

平成30年7月豪雨、また6月の大阪府北部を震源とする地震により被害を受けられた皆さまに、謹んでお見舞申し上げますとともに一日も早い復興を心からお祈り申し上げます。

さて、このたび皆さまに平成30年3月期の業績や取組みなどをお伝えするため、ディスクロージャー誌「2018南都銀行レポート」を作成いたしました。ご高覧いただければ幸いに存じます。

わが国経済は、企業業績や雇用状況が改善傾向にあることから景気は緩やかに拡大しており、今後も海外経済の堅調な成長や東京五輪を見据えた建設投資等に支えられ、回復基調が続く見通しです。また、奈良県を中心とする地元経済については、インバウンド効果等による明るい兆しもみられ、全体としては、わが国経済と同様に回復基調にありますが、人口減少や労働力不足といった問題にも直面しており、地域の活性化に向けた「まち・ひと・しごと創生」への取組みが求められています。

このようななか、当行は“営業地域および当行の活力を創造する”とした経営ビジョン「活力創造銀行」の実現に向け、中期経営計画「活力創造プランⅡ～変革と挑戦～」（平成29年4月～平成32年3月）の2年目を迎え、「地域経済力の創出」「お客さま志向のサービス提供」「業務刷新による生産性・収益性の向上」「高度な経営管理態勢の構築」にもとづいた諸施策を推進し、さまざまな改革に取組んでいます。

私どもは、地域金融機関の果たす役割は地域経済を支えていくことであると考え、「健全かつ効率的な経営に努める」「地域の発展に尽くす」という経営理念を堅持し、真に求められる金融サービスのご提供に役職員一同努める所存でございます。

引続き温かいご支援と変わらぬご愛顧を賜りますよう心からお願い申し上げます。

平成30年7月

取締役会長　植野康夫

取締役頭取　橋本隆史